

## 2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 2 月 26 日作成)

委員会名	自然共生小委員会	主査名：桜井 慎一
所属本委員会 (所属運営委員会)	海洋委員会(海洋研究推進運営委員会)	委員長名：登坂 宣好
設置期間	2000 年 4 月 ~ 2004 年 3 月	
設置目的 各年度活動計画	<p>海洋空間は、陸域に比べて空間が広大であると同時に、計画的に自由度の高い開発ができ、また、風や海流の作用で物質を拡散させやすいなどという環境特性を有している。</p> <p>そこで本小委員会では、過密化した陸域の都市にあるより、海上に設置あるいは移転することによって、陸域と海域を合わせたトータルな環境保全に役立つ「都市機能補完型海洋建築」を提案することを目的とする。</p>	
委員構成 (委員名(所属))	<p>主査：桜井慎一(日本大学理工学部), 幹事：三溝裕之(日本工営), 委員：大濱嘉彦(日本大学工学部), 岡野崇裕((社)水産土木建設技術センター) 岡本強一(日本大学理工学部), 川西利昌(日本大学理工学部), 星上幸良(国際航業(株)), 矢川隆史((株)地域開発研究所港湾海洋部), 渡辺秀俊(三洋テクノマリン(株)環境調査部)</p>	
設置 WG (WG 名:目的)	なし	
2003 年度予算	100,000 円	

項目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	<p>第1回 2003 年 4 月 23 日(水) 16:00 ~ 18:00 参加者 6 名 第2回 2003 年 5 月 21 日(水) 16:00 ~ 18:15 参加者 8 名 第3回 2003 年 6 月 11 日(水) 16:00 ~ 18:00 参加者 6 名</p>
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>本年度の活動成果については、「自然共生に配慮した都市機能補完型海洋建築の理念と提案」と題する内容で、他の小委員会での成果とともに成果報告書としてまとめられる予定である。なお、この成果の一部は、2003年9月6日に開催した海洋部門の大会研究協議会で発表した。</p> <p>「自然共生に配慮した都市機能補完型海洋建築の理念と提案」目次案抜粋</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1．自然共生を目指した海洋建築の計画</li> <li>2．緑と浅場のネットワーク形成による自然環境の回復</li> <li>3．海の営力を活用したクリーンエネルギー開発による環境保全</li> <li>4．陸域の環境負荷リスク低減のための海洋空間利用</li> </ol>
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>都市の環境負荷リスクの低減が期待できる海洋建築の機能選定を行った結果、「緑と浅場のネットワーク形成による自然環境の回復」および「海の営力を活用したクリーンエネルギー開発による環境保全」という提案を行うことができ、本小委員会の設立の目的を達成することができた。</p>
その他評価すべき事項	<p>自然共生という課題の性格上、建築以外の分野を専門とする専門家・研究者にも委員に就任していただき、総合的で幅広い論議を行い、それに即した成果をまとめることができた。</p>